

## 「短歌共作」博物館

友達からの助言が待ち遠しい！お互いにコメントをし合う短歌推敲シート

所属名： 東京都 渋谷区立 代々木山谷小学校

実践学年組： 6年 1組

氏名： 細川 卓郎

### 実践記録の概要（単元略案）

#### 全3時間

時数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノート の活用
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習課題を知り、学習計画を立てる。</li> <li>本時の学習課題を確かめる。</li> <li>短歌二首を読み、三つの観点をもとに内容を理解する。</li> <li>自分が短歌にしたい場面を決め、感動の中心と状況設定を決める。（じぶんタイム）</li> <li>短歌のリズムを確かめる。</li> <li>短歌を作り始める。</li> <li>本時の振り返りをする。（じぶんタイム）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌作りの観点を確かめる。</li> <li>自分なりの「たのしみ」を探し、三つの観点をもとにその時の様子や気持ちを細かく思い出させる。</li> <li>三十一音節の定型を教える。</li> <li>初めて和歌を作ってみて感じたことについてノートに書かせる。</li> <li>表現のしかたを確かめながら、短歌を作ろうとしている。〔発言・ノート〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌づくりのポイントを載せたページを作り、学習の見通しを持たせる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習課題を確かめる。</li> <li>新たな観点をもとに、短歌の表現を工夫する。（じぶんタイム）</li> <li>より適切な表現に置き換えながら、短歌を完成させる。</li> <li>本時の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現を工夫するための新たな観点を示す。</li> <li>「自分らしく」をイメージしやすくするために、「気持ちを直接表す言葉を使わない」「色・形・匂い・味・手触りなどを使う」「比喩を使う」といったより具体的な観点を示す。</li> <li>短歌としての形を整え、次時で読み合う準備をさせる。</li> <li>推敲の前後を比較して、改善したと思う点についてノートに詳しく書かせる。</li> <li>よりよくするための表現の工夫をし、条件に合わせて短歌を作っている。〔ノート〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コラボノートのグループ共有ページに、短歌を入力させる。</li> </ul>

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習課題を確かめる。</li> <li>・感想、助言の伝え方を確かめる</li>   <li>・推敲した短歌をグループ内で順番に読み、感想や助言を伝え合う。(なかまタイム)</li> <li>・ほかのグループの短歌を読み、感想をコメントで伝え合う。(ひろげタイム)</li>   <li>・学習のまとめをする。</li> <li>・本時の振り返りを書く。(じぶんタイム)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想の伝え方について確認する。</li> <li>・助言の仕方について確認する。</li> <li>・印象に残った友達の感想について発表させる。</li>   <li>・うまく伝わった表現や、伝わりにくかった表現について振り返らせて、ノートに詳しく書かせる</li> <li>作った短歌を発表し合い、表現のしかたに着目して助言し合っている。</li> </ul> <p>[発言・コラボノート]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開設定を「みんなに見せる」に変更し、お互いの作品を読み合えるようにする。</li> <li>・コラボノートのグループのページを見せる。</li> <li>・ほかのグループのページへ移動して短歌を読み、コメントを書くように指示を出す。</li> </ul>
---	---	--	--